



地球温暖化防止に向けた取り組み

再生可能エネルギーの導入拡大

太陽光発電 当社グループ企業を含め太陽光発電の導入を進めてまいります

お客様の太陽光発電設備からの電力購入

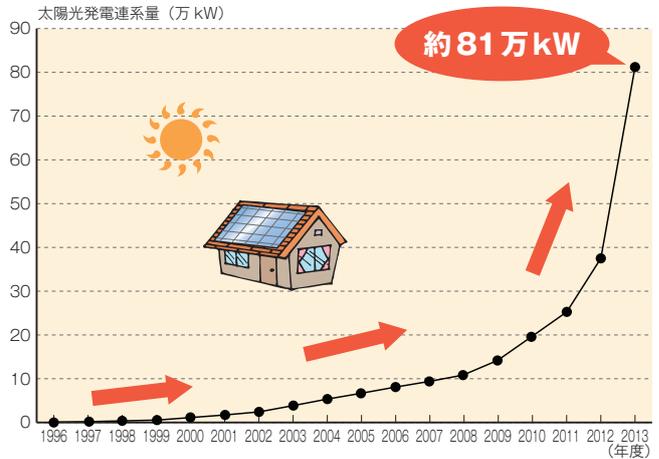
当社は、2012年7月からスタートした再生可能エネルギーの固定価格買取制度などに基づき、お客様の太陽光発電設備からの電力購入を進めています。2013年度末の太陽光発電設備の系統連系量は約81万kWとなりました。

大規模太陽光発電所の建設と安定運転

当社太陽光発電所は、現在運転中の八戸と仙台に加えて、2015年1月に原町、2016年3月に石巻蛇田が運転を開始する予定です。

なお、これら4地点の太陽光発電所の運転により、年間約2,980トンのCO₂排出抑制につながると試算しています。(一般家庭約1,490世帯が電気の使用に伴い1年間に排出するCO₂量に相当)。

◆ 太陽光発電連系量の推移



◆ 当社太陽光発電所の概要

地点	出力	発電電力量 (設備利用率12%と仮定した場合)	運転開始
八戸太陽光発電所	1,500kW	約160万kWh/年 (一般家庭約500世帯の年間使用電力量に相当)	2011年12月
仙台太陽光発電所	2,000kW	約210万kWh/年 (一般家庭約600世帯の年間使用電力量に相当)	2012年5月
原町太陽光発電所	1,000kW	約105万kWh/年 (一般家庭約300世帯の年間使用電力量に相当)	2015年1月 予定
石巻蛇田太陽光発電所	300kW	約31万kWh/年 (一般家庭約90世帯の年間使用電力量に相当)	2016年3月 予定

CO₂

八戸・仙台・原町・石巻蛇田太陽光発電所の運転によるCO₂排出抑制効果
年間 約2,980トンのCO₂排出抑制
(一般家庭約1,490世帯が電気の使用に伴い1年間に排出するCO₂量に相当)

※ 一般家庭のモデルケースを従量電灯B・契約電流30A・使用電力量280kWh/月とし、当社2013年度調整後CO₂排出原単位により試算した値

TOPICS 東北地域の3地点で太陽光発電所が運転を開始 ～東北ソーラーパワーの取り組み

東日本大震災以降、当社管内の被災地域の復興構想などで、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーを復興のシンボルとして導入する動きがみられました。とりわけ、2012年7月の再生可能エネルギーの固定価格買取制度導入により、そうした動きが活発化し、当社に対する自治体からの協力要請が多く寄せられるようになりました。

このような状況を踏まえ、当社は地域に根ざした複合エネルギーサービス企業として、大規模太陽光(メガソーラー等)発電の導入に対する地域のニーズに迅速に応えるため、当社グループ企業である株式会社ユアテックとの共同出資により、新会社「東北ソーラーパワー株式会社」を同年9月に設立しました。

新会社において、久慈太陽光発電所(岩手県久慈市・出力1,430kW)が2013年9月に、鱈ヶ沢太陽光発電所(青森県鱈ヶ沢町・出力420kW)が同年10月に、白石太陽光発電所(宮城県白石市・出力1,140kW)が同年12月に営業運転を開始しました。今後も引き続き地域のニーズに応え、当社グループ企業を含め太陽光発電の導入を進めてまいります。

地域の皆さまに信頼される太陽光発電所を目指して

白石太陽光発電所(宮城県白石市)

白石太陽光発電所では、太陽光パネル6,970枚のほかに、ポータブル蓄電池を用意し、災害時(大規模停電時)に近隣の住民の皆さまに貸出し電源として使っていただくこととしています。

また、得られた利益の一部相当額は育英募金に抛出し、東日本大震災で被災した児童の修学支援にお役立ていただいています。

今後とも、地域の自治体などが行う環境・再エネ施策を支援し、東北の復興支援・地域振興に貢献していきます。

